

## ◆【全国発信記事】愛媛支部

### 新造船「第六はる丸」が就航 —東洋商船株式会社—

#### 地球温暖化などの環境負荷を低減するモーダルシフト 愛媛～大阪～千葉 の海上物流を担う

四国から関東の海上物流を担う、東洋商船株式会社所属の新造船として、RORO船「第六はる丸」(総トン数12404トン)が、9月16日に就航した。本船は「第五はる丸」の姉妹船で、気候変動の原因とされる地球温暖化などの環境負荷を低減させるべく、地球環境にやさしいモーダルシフト(トラックなどの自動車による貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること)として重要な役割を果たすことが期待されている

「第六はる丸」は、愛媛県三島川之江港～大阪府泉大津港～千葉県千葉中央港を結ぶ(下り便のみ岡山県宇野港寄港)。

愛媛県四国中央市は日本有数の製紙産業地帯であり、紙の製造品出荷額日本一を誇る紙の町である。積載貨物は、四国から関東に向けては紙製品や鋼材を、関東から四国に向けては化学製品や乗用車などを輸送する。

本船は今年5月に就航した「第五はる丸」の姉妹船である。RORO船は、地球環境にやさしい輸送モードでありモーダルシフトの受皿として重要な役割を果たしている。

また「第五はる丸」と「第六はる丸」は国土交通省より「内航船省エネルギー格付制度」の最高評価5つ星を獲得している。この制度は、国土交通省が内航海運のCO<sub>2</sub>排出削減目標達成に向け、船舶の省エネ・省CO<sub>2</sub>技術の性能を「見える化」する目的で運用開始した評価制度。船舶の環境性能を基準値から何%改善したかに応じて、星1つから星5つまでで評価される。

「第六はる丸」はプロペラ旋回流のエネルギーロスを回収する舵をはじめ、波浪中の波を抑える船首喫水線上の板状の省エネ装置、航海中の燃費性能を向上させる「電子制御エンジン」を装備することで、国土交通省が定める環境性能の基準値を20%以上改善し、この評価で最高の5つ星を獲得した。今後の活躍が期待されている。